

横浜市介護支援専門員連絡協議会 連絡協議会議事録

会議名	平成 30 年度 11 月 定例会		
開催日時	平成 30 年 11 月 16 日(金)	19:00~20:45	開催場所 横浜市社会福祉センター9 階
議 題	1	情報提供	
	2	H31 年度総会について	
	3	南部ブロックの活動について	
	4	定期巡回随時対応型訪問介護看護連絡会(通称:よこはま地域ネット 24)との連携について	
	5	各委員会及び他団体の協力委員報告	
	6	ブロック会議	
	7	その他連絡事項	

No	議 題	内 容
1	情報提供	<p>○「在宅医療を推進するための市民啓発講演会」の周知について (医療局がん・疾病対策課担当係長 細井氏より)</p> <p>在宅医療を推進するための市民啓発講演会として、31 年 1/22(火)14 時から横浜関内ホールにて、「もしも、治らない病気になったら～人生の最終段階に備えてみませんか?～」を開催する。人生の最終段階について考えて頂くきっかけとしたい。なお、この講演会が、初めて「もしも手帳」を配布する場となる。</p> <p>○「横浜市認知症高齢者等見守りシール事業」について</p> <p>横浜市では平成 30 年 12 月から、同事業を開始する。「行方不明になった認知症の方が早期に自宅に戻れるよう、個人情報を守りながら身元を特定できる見守りシール(QRコードで読み取る)」を配布する。対象者は在宅の横浜市民で、「①認知症高齢者等SOSネットワーク登録者及び神奈川県・神奈川県警への登録情報提供に同意していること。②迎えに行くことのできる家族等がいること」となる。既に同SOSネットワーク登録者には案内をしている。周知は、区役所・地域包括支援センター・警察などを通じて行い、自治会・町内会・民生委員などへも伝え、広報よこはまにも掲載する。</p> <p>→YCM側からの意見として、「家族等の迎えに関して、等にはケアマネジャーも含まれるのか。現在もケアマネジャーに対して、警察から迎えに来てほしいと連絡があることがある。そうした際にケアマネジャーが迎えに行かなくてはいけない、と考えている機関の考え自体を払拭してほしい」「シールを貼ることで、認知症だと分かってしまう。それにより、犯罪に巻き込まれる心配もある」などの意見がある。</p> <p>それに対して、「迎えに行く人に、ケアマネジャーを想定していない」「リスクがあることも承知はしている。そのため、警察などの協力も仰いでいる」との返答がある。</p>
2	H31 年度総会について	<p>31 年度総会実行委員松下委員長より</p> <p>・日時: 5/22(水)か 5/23(木)で調整中</p> <p>・場所: 旭区の二俣川サンハート(相鉄線二俣川駅)</p> <p>・基調講演: 車椅子ラグビーチーム「横浜義塾」の月村監督と選手の計 2 名</p>
3	南部ブロックの活動について	<p>中村氏より</p> <p>南部ブロックでは、今年度 36 病院の情報を冊子にまとめた。そこには、ケ</p>

No	議 題	内 容
		アマネジャから病院へ連絡する際のマナーや、在宅医療相談室の情報も載せている。31年2/6(水)に南部ブロック合同研修をウイリング横浜で開催し、その時に区会員に配布する。なお、同研修では、「つながるクリニック八森医師」に講演を頂く。冊子作成の費用は、各区活動費から案分している。
4	定期巡回随時対応型訪問介護看護連絡会(通称:よこはま地域ネット24)との連携について	加藤代表より 「よこはま地域ネット24」から31年度は事例発表会のスタイルを再考し、ケアマネジャーとの合同で今迄にも増したサービス理解と周知をはかりたい、との話を受けた。まずは今年度の発表会に「ゲスト(来賓)」として参加予定で、今後も同会から話があれば協力していく。
5	各委員会及び他団体の協力委員報告	○医療連携委員会 なし ○制度対策委員会(佐藤孔氏より) 11/8(木)に委員会開催する。先般のアンケートは順調に集まっている。事業所の規模を問わず、それぞれの立場の声を集めたい。そのためどの様に集計し・どの様な様式を用いるかを、これから検討する。 ○広報委員会(松下氏より) サイボウズからキントーンへの変更を進めていく。広報委員会では利用を開始した。これから順次、YCM役員の方々へ利用に向けての送信を始め、その後区代表へも行う。 ○会計(佐藤直氏より) 予算中間発表「1,563,175円」 今後、大きく予算を使わなければ、今年度予算は大きく余る見込み。 →予算は協賛団体の支援があってこそなので、今後は協賛団体へのメリットとなる活動などを考えても良いのでは、との意見あり。 ○事務局(佐藤洋氏より) 11/6に県協で制度改正調査研究委員会がある。区分支給限度額の調査について、県協ホームページにアップされている。 来年度事業計画で、ケアマネジャーの業務量の削減について検討の予定。 ○他団体協力委員 ・横浜市福祉有償移動サービス運営協議会(深井氏より) 11/9に会合あり。次回は2月の予定。 ・横浜市医療局体制整備検討会(加藤代表より) もしも手帳の打ち合わせを行っている。 ・その他(加藤代表より) 日本介護支援専門員協会で、会社や利用者から受けたハラスメントについてアンケートを取っている。日本協会や県協のホームページ参照のこと。
6	ブロック会議	○東部ブロック 実地指導が行われた事業所があり、情報共有する。 ○西部ブロック 31年度総会テーマは、「雲外蒼天」(うんがいそうてん・「困難や苦しみを抜けた先に、青い空が広がっている」の意)とする。 ○南部ブロック 各区の最近の活動について情報共有する。 金沢区では、Tシャツを揃えて地域のお祭りに参加し、焼きそばをふるまった。また、居宅の管理者会を開催し、ケアマネ連絡会ではできない研修の企画や、医師との飲み会の開催などの検討をした。 ○北部ブロック 欠席者多数で、ブロック会議は開催できず。
7	その他連絡事項	○健康福祉局との意見交換について(加藤代表より) 次回12/21(金)のYCM定例会にて実施する。内容については、後日サイボ

No	議 題	内 容
		<p>ウズでお知らせする。</p> <p>○加藤代表より 横浜市健康福祉局企画課から、「横浜市社会福祉審議会委員」の依頼があり、YCM加藤代表が参加の予定。任期は平成31年1月12日から平成34年1月11日となる。なお、委員の期間内にYCM代表の交代があれば、同局と相談する。</p>

次回:30年12月21日(金)19時から
横浜市社会福祉センターにて